

H30.7.27 第5回ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会

(出席者)※委員(代理出席含む)のみ

【学 識】 中村教授(協議会会長)(日本大学工学部)

【産業界】 小野会長(協議会副会長)((一社)福島県建設産業団体連合会)、鈴木専務理事((一社)福島県建設業協会)、皆川会長((一社)福島県測量設計業協会)、相良会長(福島県法面保護協会)、佐藤会長((一社)福島県地質調査業協会)、畠支部長((公社)日本技術士会東北本部福島県支部)、伊藤専務理事((一財)ふくしま市町村支援機構)

【官公庁】 遠藤副所長(国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所)、杉部長(協議会副会長)(福島県土木部)

※委員総数13名のうち、代理出席を含め10名の出席



【会長挨拶】

中村教授：協議会として公共土木施設の維持管理全般に関する技術者の育成を進めているが、近年の災害の発生状況を踏まえて育成の必要性が増しているように感じている。今回から新たな体制で実施することになるが、『ふくしまMEコース』の開設や、育成した技術者の活用など、引き続き、皆様からの御協力をお願いしたい。

【会議結果】

- (1)平成29年度事業報告及び決算報告について(資料2)は、平成30年5月11日に監事による監査を受けている旨を報告した。
- (2)ふくしまME(基礎)コース及び必修講義に関して、平成30年度第1回の受講状況(資料3)及びアンケート調査結果の報告(資料4)、平成30年度第2回の受講者数(予定)(資料5)により報告した。なお、受講者選抜については審査委員会の決議による旨、説明した。
- (3)選抜結果の通知について(資料6)は、審査委員会として受講者選抜の視点を追記して通知した旨を報告した。
- (4)会名の英語表記(案)について(資料7)は英語表記を行うことが承認されたが、詳細について事務局で再度検討することとした。
- (5)平成30年度の予定(案)について、今後幹事会で①『ふくしまMMRのあり方』、②『社会インフラのデータベース』、③『育成した技術者の活用及びインセンティブ』を幹事会で議論を進め、第4四半期の協議会で検討結果の報告を行うこととした。
- (6)「平成30年度第1回ふくしまME(基礎)コース認定者」については、87名の認定を決定した。

【委員発言】

鈴木専務理事：平成30年度の予定(案)で示された3つの項目に関しては、今後の維持管理を効率的に進めていく上で必要であるため、幹事会でしっかりと議論を進めて欲しい。

受講者のモチベーション向上のため、育成した技術者が維持管理に関する助言を行うなど、地域貢献が出来るような動機付けとしてのインセンティブがあることが大事であるとする。

杉 部 長：平成30年度の予定(案)について、これまで県で検討をしたものがあるので、その経過を踏まえて幹事会でより深い議論をしていきたい。